

令和5年度御五神島・無人島体験事業

今年度4年ぶりに御五神島・無人島体験事業を7月30日（日）～8月8日（火）で実施しました。

7月30日（日）

御五神島・無人島体験事業1日目が始まりました。今日は開会式から始まり、アイスブレイクを通して班の中を深め、野外活動に向けてテント設営やロープワークを行いました。夕食後は、班ごとにチーム名を決めて班旗づくりを行いました。



7月31日（月）

無人島生活に向けた竹食器づくり、火おこしの練習、タープ設営の実習を行いました。竹食器づくりではナイフも使うということで、真剣に話を聞いて行っていました。楽しむところは楽しみ、まじめにやるところはまじめにするという、メリハリができたところに成長を感じました。



8月1日（火）

いよいよ入島です。開村式を終え、マッチも贈呈されました。これからの無人島生活1班マッチ15本で火をつけなくてはなりません。今日の夕食から、自分たちで作るようになりました。メニューも各班工夫して満足したようでした。



8月2日（水）

台風の影響で明日が自給自足的な生活になった関係で、予定を変更しシュノーケリングと釣りを行いました。シュノーケリングでは、安全についての話を聞いた後、遊ぶ時間もありました。水を掛け合ったり、泳いだりとそれぞれ楽しみました。海から上がった後は、井戸水で海水を流しみんなリフレッシュできました。



8月3日（木）

今日は自給自足的な生活の日です。食べられるもの、食べられないものについての説明を受けた後、野草採取・シュノーケリング・釣りをして食料調達です。自分たちで食料を確保しないとイケない過酷な状況の中ですが、みんなで協力してがんばっていました。



8月4日（金）

今日はテントサイトコンテストの日です。自給自足的な生活を乗り越えたことで、団結力も強くなってきたように感じます。御五神島で1日過ごすのは最後になりました。豪華賞品獲得を目指してどの班も工夫したテントサイトを作っていました。



8月5日（土）

予定を2日繰り上げての離島となりました。楽しいことも、苦しいこともあった御五神島。ありがとう。

午後には、大洲青少年交流の家に戻ってきました。



8月6日（日）

大洲に戻ってきてからも、島での生活と同じように食事は自分たちで作ります。島と比べると環境が整っているの、日常生活のありがたさを感じているようです。昼食は料理コンテストになっているので、みんな張り切っています。



8月7日（月）

今日は朝のレクリエーション「人間知恵の輪」からスタートしました。班の垣根を越えて声を掛け合う姿が見られました。午前中はこれまで生活に使ってきた道具の片付けを行い、夜はキャンドルサービスをして、最後の夜を過ごしました。





8月8日（火）

9泊10日という長い期間、日常とかけ離れた時間を共有した子どもたちは、最初と比べ物にならない位成長しました。閉会式では笑いあり、涙ありで別れを惜しむ姿が見られました。子どもたちには、今回の事業の経験を生かし、これから様々な困難があっても乗り越えていってほしいと思います。

